



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	12,757	9,390	0
事業費計		(千円)	0	12,757	9,390	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	3.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	1,172.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	24,080		
事業コスト		(千円)	0	36,837		

R01年度当初積算根拠	報償費 403千円 (まちづくりワークショップ講師謝礼・プロポーザル審査委員会謝礼等) 旅費 64千円 需用費 178千円 (消耗品費・印刷製本費等) 委託料 8,745千円 (中心市街地にぎわい効果分析業務委託・中心市街地公有地等活用基本方針検討業務委託等)
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	5 十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	3 やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	3 他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	535 公共空間活用推進事業									
戦略プラン	II	3	2	つくば駅周辺地区の活性化	担当部課	都市計画部学園地区市街地振興室				
総合戦略	III	1	(1)	つくば駅周辺地区のにぎわい創出	係名					
					新規・継続	継続				
予算科目	01-080401-23 学園地区市街地振興に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間						
個別計画	新たなつくばのグランドデザイン、研究学園地区まちづくりビジョン、中心市街地まちづくりビジョン				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
本市の特徴的な都市インフラであり、優れた地域資源であるペDESTリアンデッキや公園などの公共空間を有効活用することにより、センター地区を中心としたエリアの新たな魅力と活力を創出する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>持続的なにぎわいと魅力の創出に向けて、公共空間において多くの人々が集い、憩えるような居心地の良い空間や居場所を実証的に創出し、その効果分析を通じて、公共空間活用にあたってのルールづくりや実施運営主体のあり方などの検討を進めていく。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>ペデカフェ団体の現在までの取組みを踏まえ、公共空間の今後のあり方を検討する。</li> <li>あり方を踏まえ公共空間活用のための制度を検討する。</li> <li>中央公園において実験的にバーベキュー場等の多くの人々が楽しみ、憩える新たな居場所（サードプレイス）づくりを実施する。</li> <li>次年度以降の継続的な実施を踏まえ課題整理や効果等の検証を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>公共空間活用制度の方向性を検討した。</li> <li>中央公園における取組みの課題や効果を検証した結果、大きな課題は無かった。</li> <li>経済効果やにぎわい創出など大きな効果を得た。</li> <li>通年の取組み（つくばセンターマルシェ、地先利用）</li> <li>イベント等を実施した。</li> <li>（6月2件、7月2件、8月2件、9月2件、10月3件、11月1件、12月2件、3月1件）</li> </ul>					
成果					課題					
14の取組みを実施することにより、中心市街地に多くの来街者があり、にぎわい創出につながった。					更なる取組みの拡大や周辺施設との連携を促進する必要がある。また、引き続き公共空間活用のための制度を検討する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
今後も継続して多くの取組みを実施するとともに、公共空間を活用するための新たな制度を検討する。										
指標の推移										
1	指標名	実証実験利用者数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	85,000.0	0.0	0.0		
	実績	57,000.0	81,000.0	137,000.0	0.0	123,864.0	0.0	0.0		
	指標の概要	実証実験に訪れた人の数（実証実験による中心市街地への来訪者数）（H30から指標として設定）								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	9,979	15,127	0
事業費計		(千円)	0	9,979	15,127	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	2.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	780.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	16,050		
事業コスト		(千円)	0	26,029		

R01年度当初積算根拠	報償費 115千円 (まちづくりワークショップ講師謝礼・プロポーザル審査委員会謝礼等) 旅費 65千円 需用費 507千円 (消耗品費・印刷製本費等) 委託料 6,600千円 (中心市街地エリアマネジメント検討業務委託) 工事請負費 1,210千円 (センター地区イルミネーション設置工事) 負担金 6,630千円 (中心市街地プレイスメイキング事業負担金)
-------------	--

予算の方向性	理由	官民連携による効果的な事業運営の実施に向け、中心市街地のエリア価値を向上させるエリアマネジメントのあり方等を検討するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		